

平成30年7月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート 平成30年7月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいませようをお願いいたします。

7月21日（土）、八戸市の中心街に、八戸まちなか広場（愛称：マチニワ）がオープンします。

マチニワは、中心市街地の「庭」の役割を担う、光・緑・水などの自然を感じられる開放感のあるオープンスペースです。

1階には、マチニワのシンボルオブジェ「水の樹」を設置。2階には植物や備え付けのベンチがあり、自然を感じながらくつろぐことができます。

八戸市にお越しの際は、ぜひ、お立ち寄りください。

■マチニワについて詳細はこちら（市ホームページ）

<http://hacchi.jp/machiniwa/>

■第29回南郷サマージャズフェスティバルのおしらせ【日程：7月28日（土）】

※詳細はこちら（市ホームページ）

<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/8,113720,91,475,html>

■八戸三社大祭のおしらせ【期間：7月31日（火）～8月4日（土）】

※詳細はこちら（市ホームページ）

<https://hachinohe-kanko.com/10stories/hachinohe-sannshataisai>

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせください。よろしくお願いいたします。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2 全国都市会館 5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 7月号 レポート

平成30年6月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	八戸市市制施行88周年記念PR動画「88 異国プロジェクト」が東北映像フェス大賞
(2)	八戸で出土「金装大刀柄頭」(国重文内定) 市博物館で常設展示
(3)	八戸・屋内スケート場「世界ジュニア」会場に内定 初の国際大会開催へ
(4)	八戸・屋内スケート場 ネーミングライツ 取得企業募集
(5)	7月1日「蕪島プロムナード公園」がオープン
(6)	7月21日「マチニワ」開館 市中心街でセレモニー開催へ

【産業】

記事	概要
(7)	吉田屋「うにとウと雲丹 味比べ弁当」食品コンテスト 駅弁・空弁部門で金賞
(8)	味の海翁堂「いちご煮ごはん」八工大生が新商品名やパッケージなど共同開発
(9)	“元祖八戸”発信へ「南部せんべいブランド力向上カプロジェクト」始動

【地域】

記事	概要
(10)	2017年青森県内がん死亡率 5年連続ワースト2位
(11)	2017年青森県内の出生数 過去最小8035人
(12)	八戸せんべい汁研究所 都内で「おもてなしアカデミー」開催
(13)	八戸パークホテル中国料理長 古川さん「栄養薬膳師資格」を取得
(14)	光星学院が初の海外展開 フィリピンに「八戸学院カテテル高校」開校
(15)	青年会議所アジア太平洋地区大会部門表彰に 八戸青年会議所が入賞
(16)	～八戸の魅力 動画で発信～ 八戸青年会議所が動画製作
(17)	南郷地区の観光農園オープン ～サクランボ 甘く真っ赤に～
(18)	市内36郵便局で初のスタンプラリー開催 ～風景印 集めよう～

【文化・スポーツ】

記事	概要
(19)	日整・青森県少年学年別柔道選手権 八戸市柔道少年団が団体初V
(20)	「加賀美流騎馬打毬」ロンドンで演武 日本と八戸の文化発信
(21)	南郷ジャズフェス後押し 八戸市内で連動企画 続々開催

(11)	<p>2017年青森県内の出生数 過去最小8035人</p> <p>青森県内で2017年に生まれた赤ちゃんの数（出生数）は、8035人（前年比591人減）と過去最少だったことが、厚生労働省の人口動態統計で分かった。少子化の流れが止まらないほか、県全体の死亡数も1万7575人（266人増）と前年を上回り、死亡数から出生数を差し引いた自然減は9540人と過去最多を更新。県人口の減少に拍車が掛かる実態が浮かび上がった。</p>
(12)	<p>八戸せんべい汁研究所 都内で「おもてなしアカデミー」開催</p> <p>八戸せんべい汁研究所（汁“研”）と汁“研”の関東サポーターズ倶楽部は6月3日、東京都大田区で「八戸せんべい汁おもてなし東京アカデミー」を開いた。郷土料理を通じた地域活性化に向け、汁“研”は2011年度から地元で毎年アカデミーを開催しているが、八戸市外で開講するのは初めて。マイスターに認定されると、飲食店関係者には特製のぼりを店先に出せるといった特典があり、首都圏でも草の根から八戸ファンを増やそうという狙い。この日の受講者18人は全員、講座の最後に行われた「汁“検定”」に合格し、「おもてなしマイスター」に認定された。</p>
(13)	<p>八戸パークホテル中国料理長 古川さん「栄養薬膳師資格」を取得</p> <p>八戸パークホテルで中国料理長を務める古川猛さん(50)が八戸市内で初めて、中国政府の国家資格「栄養薬膳師資格」を取得した。取得するには、通信講座などを修了した上で、学科試験とレシピ作成試験、実技試験の三つに合格する必要があるが、“薬膳のスペシャリスト”に与えられる難関資格。古川さんは既に専門調理師の資格を持っているため、実技試験は免除されたが、2015年からこつこつと勉強を積み、広く知識を問われる学科試験とレシピ作成に挑戦した。資格を取得した古川さんは「体に良い食材をお客さまに紹介するなど、今後の仕事に生かしたい」と話している。</p>
(14)	<p>光星学院が初の海外展開 フィリピンに「八戸学院カーテル高校」開校</p> <p>学校法人光星学院とフィリピンの「カーテル科学教育財団」が運営する中高一貫校「八戸学院カーテル高校」の開校式が6月13日、フィリピン・サンマニユエル市の同校で開かれた。光星学院初の海外展開。同校では日本語や日本文化を学ぶカリキュラムを導入する予定で、光星学院は今後、同校を拠点にし、日本で活躍できる人材を育成する。</p>
(15)	<p>青年会議所アジア太平洋地区大会部門表彰に 八戸青年会議所が入賞</p> <p>5月に鹿児島県で開かれた青年会議所のアジア太平洋地区大会「アジアパシフィックエリアカンファレンス」の部門別表彰で、八戸青年会議所が「最優秀会員会議所」部門で入賞を果たした。八戸青年会議所は、会員の資質向上に積極的に取り組んできたことや、市民に八戸を好きになってもらうための活動「ラブはちのへ運動」を展開している点などをアピール。惜しくも「受賞」は逃したが、活動内容が審査員から高評価を得た。同会議所が国際大会で賞を受けるのは初めて。</p>
(16)	<p>～八戸の魅力 動画で発信～ 八戸青年会議所が動画製作</p> <p>八戸青年会議所が製作を進めていた八戸市の魅力を伝える動画が完成し、6月14日、八戸学院大で上映会を行った。動画は、市民に八戸の好きなおところをインタビューした「I Think of ○○」、八戸市民のルーツや気質をユニークに描いた「呼び醒ませ！八戸魂！」、八戸に古くから伝わる神鯨「八戸太郎」をモチーフにした「RE:member八チノハタロウ」の3本。郷土愛を育み、地域の魅力を再確認してもらうのが狙い。この日は、学生食堂などで上映、学生たちが興味深く見入っていた。作品は動画投稿サイト「ユーチューブ」で順次公開する。</p>

(17)	<p>南郷地区の観光農園オープン ～サクランボ 甘く真っ赤に～</p> <p>八戸市南郷地区のサクランボ観光農園が6月22日、オープンした。初日のセレモニーには市内の保育園児約50人が招待され、真っ赤に実ったサクランボを頬張っていた。今年は開花が始まる5月に天気が良く、低温や霜も降りなかったことから豊作という。南郷地区でサクランボ狩りができる観光農園は一二三、森、小林、村上、成田の各観光農園5カ所。入園料は5カ所共通で1時間食べ放題が中学生以上1人800円。小学生は500円、幼児は300円。家族連れの場合、幼児は無料となる。時間は午前9時～午後4時。</p>
(18)	<p>市内36郵便局で初のスタンプラリー開催 ～風景印 集めよう～</p> <p>八戸市内の36郵便局で、風景印（消印）を集めるスタンプラリーが初開催されている。風景印は各郵便局で異なり、三陸復興国立公園の種差海岸や、国重要無形民俗文化財の八戸えんぶりなどが図柄になっている。専用台紙に、期間内に半分の18局の風景印を集めると、先着順で景品がもらえる。八戸郵便局の米田安局長は「改めて八戸のことを知ってもらうきっかけになれば」とアピールしている。スタンプラリーは10月30日まで。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(19)	<p>日整・青森県少年学年別柔道選手権 八戸市柔道少年団が団体初V</p> <p>4月15日に青森県武道館（弘前市）で行われた、日整・青森県少年学年別柔道選手権で、八戸市柔道少年団が団体が初優勝し、東北大会（7月16日・福島県）の切符を獲得した。個人では舘石昊祐君（白山台小4年）が男子4年無差別級を制し、全国大会（10月7日・東京都）へ駒を進めた。選手たちは喜びをかみ締めながら、次の大会での上位入賞を目標に練習に励んでいる。</p>
(20)	<p>「加賀美流騎馬打毬」ロンドンで演武 日本と八戸の文化発信</p> <p>6月10日、英国ロンドンで開かれた「ポロ」のイベントに、八戸騎馬打毬会のメンバー3人が参加し「加賀美流騎馬打毬」を披露した。当日は英国人ら約500人が会場に詰め掛ける大盛況。参加した山内卓さん（打毬会幹事長）は「騎馬打毬とポロが英国で出会ったことは意義深い。機会があれば、いろいろな場所に出向いて披露したい」と強調した。歴史をたどれば騎馬打毬と同じルーツとされるポロの本場での演武を成功させた3人は、今後の活動に意欲を見せた。</p>
(21)	<p>南郷ジャズフェス後押し 八戸市内で連動企画 続々開催</p> <p>7月28日に南郷のカッコーの森エコーランドで開かれる南郷サマージャズフェスティバルを前に、市内で連動企画が続々と立ち上がっている。中心街の八戸ブックセンターは、演奏者やジャズ評論家らお薦めの一冊を紹介するコーナー「ジャズの本棚」を設け、出演者によるトークショーも開催。市内のカフェでは、老舗ジャズクラブ「ブルーノート東京」（東京）の専属カメラマンによる写真展や、市出身のトッププレイヤーによるジャズライブを予定するなど、来年は30回目の節目を迎えるだけに、盛り上がりをさらに後押ししたい考え。</p>

【行政】

記事	概要
(1)	<p>八戸市市制施行88周年記念PR動画「88 異国プロジェクト」が東北映像フェス大賞</p> <p>八戸市の市制施行88周年を記念し、同市や東北芸術工科大などが2017年度に制作した市のPR動画「88（やや）異国プロジェクト」が東北映像フェスティバル映像コンテストのCM・キャンペーン部門で大賞を受賞した。同大の学生らが八戸を訪れた際、「八戸は異国っほい」との印象を抱いたことがきっかけで、プロジェクトが始動。八戸市出身のクリエイティブコンサルタント関橋英作氏らが制作を指導した。動画は現在、動画投稿サイト「ユーチューブ」などで公開されている。</p>
(2)	<p>八戸で出土「金装大刀柄頭」（国重文内定） 市博物館で常設展示</p> <p>国の重要文化財指定が内定している丹後平古墳群（八戸市）の出土品195点のうち、刀の柄の先端に取り付ける装飾金具「金装獅噛三累環頭大刀柄頭（きんそうしがみさんるいかんとうたちつかがしら）」が、指定に関わる調査を終えて文化庁から八戸市へ返却された。6月2日から市博物館で約5カ月ぶりに常設展示されるが、重文内定後では初披露となる。古墳群出土品は、秋ごろまでに官報告示を経て、正式に指定される予定。同館は10月、古墳群をテーマとした指定記念特別展を開く。</p>
(3)	<p>八戸・屋内スケート場「世界ジュニア」会場に内定 初の国際大会開催へ</p> <p>八戸市は6月11日、2021年の「世界ジュニアスピードスケート選手権」の開催会場に、19年秋供用開始予定の市立屋内スケート場が内定したと発表した。同選手権は毎年2～3月に開催され、世界十数カ国から18歳以下の若手選手が出場。各種目の総合成績で競うオールラウンド方式で、国内では帯広市と釧路市で開催実績がある。市によると、八戸での大会は、21年2月19～21日に開催予定。選手や関係者を含め総勢200人が参加する見込みだという。今後、課題となる宿泊場所の確保や外国人選手らの受け入れ体制の整備などを急ぐ。</p>
(4)	<p>八戸・屋内スケート場 ネーミングライツ 取得企業募集</p> <p>2019年秋に供用開始予定の八戸市立屋内スケート場について、市はネーミングライツ（施設命名権）を取得する企業を募集する。命名の条件は「施設のイメージを損なうことなく、市民の理解を得られるようなもの」。契約希望金額は年1千万円以上（消費税別）で、希望期間は18年10月1日から5年間。権利を取得した企業は施設外壁面への呼称表示のほか、施設内に広告を掲示できる。募集期間は7月17日まで。</p>
(5)	<p>7月1日「蕪島プロムナード公園」がオープン</p> <p>八戸市が、東日本大震災からの復興や、三陸復興国立公園の“北の玄関口”にふさわしい空間づくりを目的に、2011年度から鮫町の蕪島周辺で整備を進めていた「蕪島プロムナード公園」が完成し、7月1日にオープンした。市民や観光客らが散策できるよう、蕪島と市水産科学館マリエントの間を行き来できる遊歩道や広場を整備。また、公園には遊歩道のほか、広場内にベンチや小ステージ、水飲み場などを設置し、来訪者がくつろげるように工夫。指定区域内でバーベキューもでき、炭捨て場も設けた。本格的な夏の到来を前に、誘客促進と滞在時間の延長が期待される。</p>

(6)	<p>7月21日「マチニフ」開館 市中心街でセレモニー開催へ</p> <p>八戸市は、7月21日の八戸まちなか広場「マチニフ」の開館に合わせ、オープン当日に館内や市中心街でセレモニーを開催すると発表した。シンボルオブジェの「水の樹」が披露されるほか、館内ステージでは、籠神社の法霊神楽の一斉歯打ちや中高生によるバトントワーリングなどのパフォーマンスが行われる予定。また当日は午前11時から、市内シェフによる合作ブイヤベース（限定300食）を振る舞うなど、さまざまなイベントを企画している。小林眞市長は会見で、マチニフについて「八戸の『顔』として市民に愛されるような場所にしていきたい」と強調した。</p>
-----	---

【産業】

記事	概要
(7)	<p>吉田屋「うにとウニと雲丹 味比べ弁当」 食品コンテスト駅弁・空弁部門で金賞</p> <p>八戸市の弁当製造・販売の老舗「吉田屋」が製造する「うにとウニと雲丹 味比べ弁当」が、日本最大級の食品コンテスト「ファベックス 惣菜・べんとうグランプリ2018」の駅弁・空弁部門で最高賞の金賞に輝いた。若い世代にも好まれるような味付けを意識し、◇トマトクリームソース◇和風あんかけイクラがけ◇すき焼き風卵とじの3種類のウニの味が楽しめるのが特徴。審査員から「良い意味で、駅弁ばくち味」という意外性と、高級食材を使いながら低価格に抑えたのが高評価を受けた。価格は1180円（税込み）。八戸や東京、新函館北斗の各駅などで販売している。</p>
(8)	<p>味の海翁堂「いちご煮ごはん」 八工大生が新商品名やパッケージなど共同開発</p> <p>八戸工業大感性デザイン学部創生デザイン学科の3年生15人が、海産加工品などを手掛ける八戸市の「味の海翁堂」とコラボした商品開発に取り組んでいる。同社が発売予定の「いちご煮ごはん（仮称）」のネーミングやパッケージなどを学生が考えて商品化するプロジェクトで、本年度中の完成を目指す。地域企業との連携事業によって学生に地域に興味を持ってもらうとともに、地元定着を促すのが狙い。</p>
(9)	<p>“元祖八戸”発信へ「南部せんべいブランド力向上プロジェクト」始動</p> <p>「南部せんべい」発祥地として八戸市内の業者の振興を図ろうと、八戸商工会議所は6月25日、「南部せんべいブランド力向上プロジェクト」を始動した。南部せんべい発祥の地とされる八戸は、一般家庭での消費や観光土産品としての購買が多い地域である半面、専門業者は経営体力を消耗して減少し続けている。小売市場は製造能力や商品力に勝る市外企業が席卷するなど、八戸の業界を取り巻く現状は厳しい。プロジェクトでは危機的状況の打開を図り、業界主導による南部せんべいの普及、再生を目指す。</p>

【地域】

記事	概要
(10)	<p>2017年青森県内がん死亡率 5年連続ワースト2位</p> <p>厚生労働省が発表した2017年の人口動態統計によると、青森県内の悪性新生物（がん）の死亡率（人口10万人当たりの死亡数）は391.3で、過去最悪だった前年を1.1ポイント上回り、5年連続で全国ワースト2位となった。また、糖尿病が同2位、脳血管疾患が同4位となるなど他疾患の死亡率も全国より高い水準にあった。「短命県返上」を掲げる県は、がん検診の受診率向上や生活習慣改善に向けた取り組みの強化を期するが、その実効性が問われる。</p>

種差海岸
三陸復興
国立公園
指定記念
チケット

たね知ケ

Tanesashi Ticket

ご利用期間

7月1日～9月30日まで

多様な植生と美しい景観を誇る、三陸復興国立公園「種差海岸」。
博物館などで使える「たね知ケ」を持って、種差海岸を育んだ八戸を知る旅に出かけよう!

●お問い合わせ先 八戸市観光課 TEL.0178-46-4040

各施設無料で利用可能!!
1グループ5名様まで
※水産科学館マリエントは半額

1. 八戸市博物館

Hachinohe City Museum



住所／八戸市大字根城字東構35-1
TEL／0178-44-8111
開館／9:00～17:00(入館16:30まで)
休館／月曜日(第1月曜日及び祝日を除く)
祝日の翌日(土日を除く)、年末年始
※8/13は臨時開館
バス／「根城(博物館前)」下車

考古・歴史・民俗・無形資料の4つの展示室をめぐることで、八戸の歴史を学習できます。
無形資料展示室では、八戸の方言や昔話等にふれることができます。

明治150年記念特別展 「エジソンの発明品展」7/21(土)～8/26(日)

ミニパネル展 「八戸の災害」9/1(土)～9/30(日)

祝 三陸復興国立公園指定5周年! 種差海岸

ウミネコの繁殖地・燕島や鳴砂の浜、天然芝生地など、変化に富んだ景観を有する「種差海岸」。650種を超える植物が自生し、季節により多彩な花々が咲き誇るため、「花の渚」とも呼ばれています。
自然歩道「みちのく潮風トレイル」に沿っての散策や、遊覧バス・レンタサイクルと組み合わせて巡るのもおすすめです。



2. 史跡根城の広場

The Historic Nejo Site



住所／八戸市大字根城字根城47
TEL／0178-41-1726
開場／9:00～17:00(入場16:30まで)
休場／月曜日(第1月曜日及び祝日を除く)
祝日の翌日(土日を除く)、年末年始
※8/13は臨時開場
バス／「根城(博物館前)」下車

安土桃山時代の根城の様子を復原した広場です。日本100名城に選定されています。ボランティアガイドによる無料案内があります。(所要時間／1時間)

4. 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

Korekawa Archaeological Institution



住所／八戸市大字是川字横山1
TEL／0178-38-9511
開館／9:00～17:00(入館16:30まで)
休館／月曜日(第1月曜日及び祝日を除く)
祝日の翌日(土日を除く)、年末年始
※7/23、7/30、8/13、8/27は臨時開館
バス／「是川縄文館」下車

是川遺跡や風張遺跡など、八戸の優れた縄文文化を発信する施設で、国宝・合掌土偶が展示されています。映画「ライアの祈り」のロケ地です。

特別展 「海をわたる縄文人～津軽海峡文化圏の縄文～」7/21(土)～9/2(日)

3. 南郷歴史民俗資料館

Museum of Nango History and Folklore



住所／八戸市南郷大字島守字小山田7-1
TEL／0178-83-2443
開館／9:00～17:00(入館16:30まで)
休館／月曜日(第1月曜日及び祝日を除く)
祝日の翌日(土日を除く)、年末年始
※8/13は臨時開館
※7/11～7/13、9/3～9/5、9/11～9/13は臨時休館

日米親善のために贈られた青い目の人形・メリーちゃんの展示のほか、昭和の町並みが再現されたコーナーもあり、昭和の生活の変遷を感じることができます。

特別展 「長崎原爆展」7/14(土)～9/2(日)

5. 八戸市水産科学館マリエント

Hachinohe City Marine Science Museum (Marient)



住所／八戸市大字鮫町字下松苗場14-33
TEL／0178-33-7800
開館／9:00～17:00(6～8月は18:00まで)
休館／年中無休(臨時休館日9/10～9/12)
バス／種差海岸遊覧バスうみねこ号「水産科学館前」下車
鉄道／「鮫駅」から徒歩16分

近海の魚やアオウミガメが泳ぐ水槽、ウミネコやイカに関する展示など、八戸の海について遊びながら学べる観光文化施設です。

企画展 「奇怪 あなたの知らない世界～奇妙な生き物たち～」7/7(土)～8/26(日)
「夜のマリエント」7/21(土)～8/19(日)、9/15(土)～9/17(月)、9/22(土)～9/24(月)の19:00まで

ご利用方法 ①チケットを切り取ります ②チケットの裏に、お住まい(都道府県・市町村名)と人数を記入します ③各施設の受付に渡します

たね知ケ

たね知ケ

たね知ケ

たね知ケ

たね知ケ

1. 八戸市博物館
入館料無料券

2. 史跡根城の広場
入場料無料券

3. 南郷歴史民俗資料館
入館料無料券

4. 是川縄文館
入館料無料券

5. 水産科学館マリエント
入館料半額券

平成30年
7月1日～9月30日まで
※1グループ5名様まで

平成30年
7月1日～9月30日まで
※1グループ5名様まで

平成30年
7月1日～9月30日まで
※1グループ5名様まで

平成30年
7月1日～9月30日まで
※1グループ5名様まで

平成30年
7月1日～9月30日まで
※1グループ5名様まで

たね知ケ

Tanesashi Ticket

八戸観光MAP



八戸えんじょいカード

八戸市内のJRやバスが一日乗り放題(フェリーターミナルでの乗降と南郷の一部を除く!)さらに、観光・宿泊施設や飲食店等での優待サービス付!

大人(中学生以上) **700円** 子ども(小学生) **350円**

利用方法 ①JR東日本の主な駅のみどりの窓口びゅうプラザで購入(利用日1ヶ月前より購入可)
②八戸市内のみどりの窓口(八戸駅・本八戸駅・陸奥湊駅・鮫駅)にてガイドマップを受け取る

問合せ先 八戸カード運営協議会(八戸市観光課)(0178-46-4040)

種差朝ヨガ

種差天然芝生地で行う「朝ヨガ」。早朝のさわやかな海風と波音につつまれながら、リフレッシュしてみませんか。

開催日 5/26~9/29までの毎週土曜日 ※8/12(日)は特別開催

開催時間 7:00~8:00 (6:30より芝生地入口付近にて受付)

料金 一人500円
ヨガマット外100円(先着30名)

その他 予約不要 雨天時は南浜公民館にて開催

問合せ先 種差あねっこ(民宿石橋)(0178-38-2221)

種差海岸乗馬体験

天然芝生地が広がる美しい景色の中、馬に乗ってゆったり散策してみませんか。

開催日 7/14、7/21、8/4、8/18、9/1、9/8(各土曜日)

開催時間 12:30~15:00 (7/21、8/4、8/18は15:30まで)

開催場所 種差天然芝生地

料金 大人700円、子ども500円

その他 予約不要 小雨決行

問合せ先 種差観光協会(0178-38-2024)

種差海岸らくらくサイクル

GPS機能を使った音声ナビゲーション「ナビチャリ」搭載の電動アシスト自転車をレンタルできます。(全10台)

貸出場所 八戸シーガルビューホテル(八戸市鮫町小舟渡平9-19) 電話:0178-33-3636 ※前日までに要予約
種差観光協会(八戸市鮫町棚久保14-117) 電話:0178-38-2024
タカヤ靴店(八戸市鮫町持越沢6-2) 電話:0178-33-7140 ※毎月第2・3火曜日は休業日

貸出時間 9:00~17:00(最終貸出16:00)

料金 3時間以内 1,000円/1日1,500円 乗り捨て500円

お住まい	お住まい	お住まい	お住まい	お住まい
一般	一般	一般	一般	一般
高校生	高校生	高校生	高校生	高校生
中学生・小学生	中学生・小学生	中学生・小学生	中学生・小学生	中学生・小学生

※大学生は一般に含む。

■ 募集規定

- ・応募者の年齢、性別、プロ、アマは問いません。
- ・応募写真は今の八戸市内を撮影した写真。
- ・応募写真は1人につき4枚までとします。組写真の最大枚数も4枚までとします。(例：1枚ものの作品1点、3枚で構成される組写真1点)
※一人1点以上は展示しますが、展示会場の都合上全ての写真が展示されるわけではありません。
- ・応募写真は、応募者がすべての著作権を有しているオリジナル写真に限ります。
- ・カラー、モノクロは問いません。(写真画像の加工は、色・光程度とします。)
- ・発表済みの写真も応募できます。

■ 提出するもの

写真はデータで提出することとし、次の(1)(2)をご用意ください。

- (1) 写真データ 推奨データサイズは2～5MB。携帯電話で撮影した写真も提出可能です。
 (2) 文字データ

内容	例
① 氏名(ふりがな)	八戸 花子 (はちのへ はなこ)
② 住所 / 電話番号 / メールアドレス	八戸市八日町9 / 0178-45-8338 / art@city.hachinohe.aomori.jp
③ 作品タイトル	出番待ち
④ フェデラルウェイ市民への写真紹介メッセージ(100字程度)	・何に八戸の土地に息づくスピリットを感じたか ・伝えたい八戸の魅力のポイント など

※展示の際は、氏名、作品タイトル、メッセージを写真に添えて展示します。

■ 応募方法

募集期間内に以下の方法でご提出ください。

1、メールでの提出の場合	「提出するもの」の(1)と(2)を下記「応募・問い合わせ先」の提出先メールアドレスへ送信ください。 なお、複数の写真を応募する場合、写真データファイルの名前は次のとおりとしてください。 氏名(日本語)_作品番号_ファイル保存形式 (例：八戸花子_1_JPEG)
2、郵送・持込の場合	写真データを保存したメディア(CD、DVDなど)と、このチラシの応募用紙を下記「応募・問い合わせ先」へ郵送、もしくはご持参ください。郵送は9月28日(金)必着。持込は平日10:00～17:00受付(土日祝日を除く)

■ 注意事項

- ・人物等の被写体に関する肖像権や著作権については、応募者本人が著作権を有するもの、または応募者の責任において事前に使用許諾を得たものとします。
- ・応募写真に関して第三者から権利侵害や損害賠償などの苦情・異議申し立てがあった場合、主催者は一切責任を負わず、費用負担などを含め応募者が全て対処するものとします。
- ・公序良俗に反する恐れのあるものは主催者の判断で展示をお断りする場合があります。
- ・展示会場は撮影可となります。
- ・展示に使用する写真は主催者がプリントします。応募者意図とプリントされた写真とに差異が生じる場合があります。
- ・写真データをプリントした時に被写体が不鮮明不明瞭な場合には、採用しないこともあります。
- ・会場の展示構成は主催者が決めます。
- ・応募写真は広報及び関連イベント等で使用することがあり、加工する場合があります。
- ・作品タイトル、メッセージの英訳は主催者で行いますが、応募者意図と翻訳文とに差異が生じる場合があります。応募者自身での英訳を希望する場合は、写真応募の際に日本語に併せて英訳したものも提出下さい。

■ 個人情報

- ・ご提供いただいた個人情報は、本写真展事業運営のために必要な範囲内で使用させていただきます。

■ 応募・問い合わせ先

〒031-0086 八戸市八日町9 ダイヤビル1F

新美術館建設推進室 「姉妹都市25周年記念交流写真展」係

TEL：0178-45-8338 提出先メールアドレス：art@city.hachinohe.aomori.jp

HP：http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/12,117917,74,html

ホームページは
こちらから▶



取り取り線

■ 応募用紙

氏名(ふりがな)	メールアドレス
住所	電話番号
作品タイトル ※データ名の作品番号に対応する番号欄に記入してください。	
1	
2	
3	
4	
フェデラルウェイ市民への写真紹介メッセージ(100字程度)	

写真のまち八戸関連事業

姉妹都市提携25周年記念交流写真展

写真大募集!!

フェデラルウェイ市で

あなたの写真を展示しませんか

八戸の人々の日常の生活の姿、日常の視点を通して、この土地に暮らす人々が日頃意識しなくとも大切に共有しているものや、精神性を伝えられる作品。

それは例えば三社大祭に参加する子ども達が豆絞りを鉢巻に、鼻白を塗った姿であったり、えんぶりの太夫達が馬の神を伴って凍てついた大地を揺さぶり起こす所作であったりするかもしれません。そしてまた、そうしたハレの場面ばかりに限らず、ハマで漁具を整える姿、畑を耕し土と対話する姿、眠らない工場の機械を磨き上げる姿、なのかもしれません。伝えたいシーンの切り取りかたは、いかようにもあります。なにより、世代や立場を超え、えんぶりを長らく伝え、三社大祭の山車を造り続ける八戸の人々の類まれな独特の色彩感覚、構成員、表現することへの熱い魂に期待します。

募集写真テーマ

フェデラルウェイ市民に紹介したい、

八戸の土地に息づくスピリット(精神)

★写真が採用された方には記念グッズあり

募集期間

平成30年 8月1日[水] - 9月28日[金]

写真展開催

フェデラルウェイ市 平成30年 12月 | 八戸市 平成31年 1月

主催：八戸市 総合政策部 市民連携推進課
まちづくり文化スポーツ部 新美術館建設推進室
共催：フェデラルウェイ市

応募先・お問い合わせ先

詳しくは裏面
要項をご覧ください

八戸市 まちづくり文化スポーツ部 新美術館建設推進室
「姉妹都市提携25周年記念交流写真展」係

〒031-0086 八戸市八日町9 ダイヤビル1階

TEL: 0178-45-8338

提出先メールアドレス: art@city.hachinohe.aomori.jp

HP: <http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/12,117917,74.html>

ホームページはこちらから▶



姉妹都市 フェデラルウェイ市

位置：米国北西部のワシントン州中央部
州最大の都市シアトル市から南へ約40km

人口：約9万人（八戸市は約23万人）

面積：約50km²（八戸市は約300km²）

特長：シアトル市などのベッドタウン。交通の便の良さ、
海山に囲まれた住環境のよさなどから人口が増えている地域。

【姉妹都市提携：平成5年8月1日】

